

さいたま市 産業振興ビジョン



さいたま市

平成26年3月

力強い地域経済の実現を目指して

さいたま市では、目指すべき産業振興の姿について「強い産業力の醸成と躍動する都市づくり」を目標に、平成16年3月に「さいたま市産業振興ビジョン」を策定して以降、これまで中長期的な視点に立ち、計画的に産業振興施策に取り組んでまいりました。

日本の総人口は既に減少局面を迎えていますが、本市の人口は、平成37年までは増加が見込まれ、その後、高齢化が急速に進み、人口が減少していくと予想されます。東日本の中枢都市としてのまちづくりを充実させるため、私は、これからの5年、10年がさいたま市の将来にとって最も重要な時期であると強く感じております。

そのため、このたびの産業振興ビジョンの改定では、平成32年度を目標年次とし、目標を実現するために本市が取り組むべき産業振興施策のうち、今後7年間に重点的に取り組む事項について、「産業の成長力強化」、「地域の魅力向上」、「地域経済を担う人づくり」の3つを重点プロジェクトと定め、最大限の施策効果が得られるよう、本市の経営資源を集中的に投入して推進します。

さいたま市は、政令指定都市に移行して10年が経過しました。その間、環境、健康・スポーツ、教育といった本市の良さや強みに磨きをかける取組を実施してきましたが、今後、本ビジョンに基づき力強い地域経済の実現を目指して、積極的に取り組んでまいりますので、さいたま商工会議所をはじめ、地域金融機関、大学等研究機関、各種経済団体、国、埼玉県等の皆様には、幅広いご協力をいただきますようお願い申し上げます。

最後に、今回の改定にあたり多大なるご尽力を賜りました「さいたま市産業振興ビジョン審議会」の委員の皆様をはじめ、パブリックコメントや各種調査を通じて貴重なご意見をいただいた経済界、事業者、市民の皆様には心から御礼申し上げます。

平成26年3月

さいたま市長 清水 勇人



さいたま市産業振興ビジョン

目 次

I	さいたま市産業振興ビジョンについて	1
1	さいたま市産業振興ビジョンの策定及び改定趣旨	1
2	産業振興ビジョン改定の方針及び他の計画等との関係	2
II	さいたま市経済の現状	4
1	経済基盤・産業構造	4
2	景況・経済動向	7
3	産業別の状況	11
III	これまでの産業振興の取組	14
1	産業支援体制の整備と関係機関との連携	14
2	先導プロジェクトの課題と今後の方向性	17
IV	改定の視点	32
1	本市を取り巻く社会経済情勢を反映	32
2	本市の強みを生かす	35
3	産業振興の課題、求められているニーズへの対応	38
V	産業振興の施策体系	41
1	活力ある地域産業を守り育てる環境の整備	42
2	さいたま市の特性を生かした新たな産業の創造	44
3	地域経済を支える人材の育成と就労支援	46
VI	重点プロジェクト	47
1	産業の成長力強化プロジェクト	48
2	地域の魅力向上プロジェクト	51
3	地域経済を担う人づくりプロジェクト	53
VII	ビジョンの推進に向けて	56
1	産業振興ビジョンの推進体制	56
2	産業振興ビジョンの進捗の把握	57
VIII	参考資料	58